

日语一级 800 个核心词

あいそう【愛想】

- ◆ お酒ばかり飲む夫に愛想を尽かした妻は、離婚した。「讨厌」
- ◆ あの店員は愛想がよい。「招待」
- ◆ 愛想を言う。「客套话」
- ◆ 愛想がない。「亲切」
- ◆ おーい、お愛想。「结帐」

あいだがら【間柄】

- ◆ 林先生と山田さんは、師弟の間柄だそうです。「关系」

あえて【敢えて】

- ◆ あなたの将来のために、あえて忠告します。「特意、勉強」
- ◆ どうしても行きたいなら、私はあえて反対しない。「并不」

あくどい

- ◆ あの男のあくどいやり方に泣かされた人も多い。「太过火、恶毒」
- ◆ 色があくどい、味があくどい。「过艳、太膩」

あざ【痣】

- ◆ 私は生まれながらに、左手に小さなあざがあります。

あさましい【浅ましい】

- ◆ 祖父が亡くなったとたん、遺産をめぐってあさましい争いが始まった。「卑鄙、可耻」

あざむく【欺く】

- ◆ 敵を欺くために、一度退却するふりをした。「欺骗」
- ◆ 花をあざむく器量。「赛过」

あざわらう【嘲笑う】

- ◆ 助けを求めにきた人を、何もせずあざわらっていたあの男はひどい。

あせる【褪せる、焦る】

- ◆ 朝寝坊をしたので焦って出かけた。「急躁、着急」
- ◆ 何度も洗濯したので T シャツの色が褪せた。「褪色」

あっけない

- ◆ 有名な大学の試験だから、難しいと思ったが、あっけないほどやさしかった。「太简单、没意思」

あつらえる【誂える】

- ◆ 兄は、既成服に合わない体形なので、服をあつらえている。「订做」

あとまわし【後回し】

- ◆ 彼は自分のことを後回しにしても、他の人を助けるような人だ。「推迟、缓办」

あべこべ

- ◆ 道を曲がるのを間違えたらしく、あべこべの方向へ行ってしまった。「相反、颠倒」

あやつる【操る】

- ◆ 彼女が横領したのは、陰で誰かに操られたからに違いない。「操纵」

あやぶむ【危ぶむ】

- ◆ 遭難した船の行方は、いまだに分からず、乗組員の生存が危ぶまれている。「认为危险」

あやふや

- ◆ 彼のあやふやな態度に、彼女は激怒した。「含糊」

あやまち【過ち】

- ◆ 誰でも若い時は、過ちの一つや二つはおかす。「过错」

あらかじめ【予め】

- ◆ あらかじめ必要なものをメモして行くと、無駄な買物をしない。「预先、事先」

あらっぽい【粗っぽい、荒っぽい】

- ◆ 彼はあらっぽい性格に見えますが、実は優しい人なんです。「粗暴、粗野」

ありさま【有様】

- ◆ 田中君は、彼女にふられてからというもの、食事ものを通らない有様だ。「状态」

ありのまま

- ◆ ありのままの私を認めてくれる人と結婚したいと思っている。「老实、坦白」

ありふれる【有り触れる】

- ◆ 親友の結婚祝いだから、ありふれた品ではなく、特別なものを贈りたい。「通常的、不稀奇的」

あんじ【暗示】

- ◆ この絵の曲線は、人間の叫びを暗示しているようだ。「暗示、示意」

あんじる【案じる】

- ◆ 畑を荒らす野生の猿捕まえようと、一計を案じた。「(=あんずる) 思考、想出一条办法」
- ◆ 事の成り行きを案じる。「挂念、担心」

あんのじょう【案の定】

- ◆ 連休中の新幹線は、案の定、込んでいた。「果然、果如所料」

いいかげん【いい加減】

- ◆ ちょうどいいかげんの温度。「いいかげんにしなさい」と、母親は子どもをしかった。「适当、适可而止」
- ◆ 彼はいいかげんな男だ。いいかげんな返事。僕の英語はいいかげんなものだ。「敷衍、不负责任、马马虎虎」
- ◆ もういいかげん酔った。「十分、很」

いいわけ【言い訳】

- ◆ あなたが言っていることは、言い訳にもならない。「辩解」
- ◆ 言い訳の手紙を出す。「道歉」

いかに【如何に】

- ◆ いかに熱弁をふるっても、彼に賛同する人はいなかった。「(いかに...でも)無論」

いかにも

- ◆ いかにも、おっしゃるとおりです。彼はいかにも優等生のダイブだ。「果然」

いき【粹】

- ◆ 小林さんは、なかなか粋な人だ。「潇洒、帅」

いきがい【生甲斐】

- ◆ 彼から仕事をとりあげたら、生きがいがなくなってしまうだろう。「人生的意义」

いきごむ【意気込む】

- ◆ 山下さんを説得しようと、意気込んで訪ねたのに、留守だった。「兴致勃勃」

いくた【幾多】

- ◆ 父は、幾多の困難をのりこえて、会社を大きくしてきたそうだ。「许多」

いじる【弄る】

- ◆ 彼女は、話しながら髪の毛をいじる癖がある。「拨弄、摆弄」
- ◆ 人事をいじる。「随便改动」

いぜん【依然】

- ◆ 彼には遅刻しないよう、何度も注意したが、依然として改まらな

い。「仍然」

いたって【至って】

- ◆ いたってのんきな弟は、よく宿題を忘れる。「甚、極」

いちがいに【一概に】

- ◆ 田舎は住みやすいと言うが、一概にそうとも言いきれない。「一概、一律」

いちどう【一同】

- ◆ 社の発展のために、社員一同、力を合わせて頑張っている。「全体」

いちもく【一目】

- ◆ グラフに表すと、結果は一目瞭然だ。「一目了然」
- ◆ 彼女の才能は誰もが一目置く。「让步、自认逊色」

いちよう【一様】

- ◆ 社長の言葉に、みな一様にうなずいた。「同様」

いちりつ【一律】

- ◆ 全社員一律2パーセントの昇給が決定した。「一律」

いちれん【一連】

- ◆ 一連の問題解決にむけて、話し合いが行われている。「一连串」

いっかつ【一括】

- ◆ 時間がないので、三つの議案を一括して審議する。「总汇、一包在内」

いっき【一気】

- ◆ 日頃から鍛えている彼は、120 段の階段を一気にかけ上がった。「一口气、一下子」

いっきょに【一举に】

- ◆ 作品を一举に完成させる。「一举、一下子」

いっしん【一心】

- ◆ 母は、息子の無事を一心に祈った。「一心一意」

いっそ

- ◆ 毎月、こんなに高い家賃を払うのなら、いっそのことマンションでも買おうか。「索性、倒不如」

いっぺん【一変】

- ◆ 彼の言葉で、その場の雰囲気が一変した。「突然改变」

いと【意図】

- ◆ 著者の意図がよく分からない本だった。「意图」

いびき【鼾】

- ◆ 昨夜は、同室の原田さんのいびきがうらさくて、眠れなかった。「打呼嚕」

いまさら【今更】

- ◆ いまさら謝られても、もう遅い。「现在才、事到如今」

いまだ【未だ】

- ◆ もう 12 月だというのに、私はいまだに志望校を決めていない。「尚未、仍然」

いやいや【嫌々】

- ◆ 上司からの依頼なので、その会合にいやいや参加した。「勉強強強」

いやに

- ◆ 山中さんは、今日に限って、いやにおとなしい。「太、非常、过于」

いんき【陰気】

- ◆ 彼女は美人だが、陰気な性格だ。「忧郁、郁闷」

うけとめる【受け止める】

- ◆ キャッチャーは、ピッチャーが投げた鋭い変化球を受け止めた。「挡住」
- ◆ 私の気持ちを受け止めてくださったのは先生だけです。「理解」

うちあける【打ち明ける】

- ◆ 妻に転職したいと打ち明けたところ、賛成してくれた。「坦率说出、毫不隐瞒地说出」

うちきる【打ち切る】

- ◆ 発掘調査は、昨日で打ち切られた。「停止、截止」

うちこむ【打ち込む】

- ◆ 相手のコートへ、球を強く打ち込んだ。「打入」
- ◆ 仕事に打ち込んでいる。「专心致志、全神贯注、迷恋」

うちわけ【内訳】

- ◆ 出張費の内訳を説明した。「详细内容」

うっとうしい【鬱陶しい】

- ◆ 雨が多く、うっとうしい天気が続いている。「阴郁、沉闷」

うつむく【俯く】

- ◆ 恥ずかしかったので、彼女はずっとうつむいていた。「低頭」

うつろ【虚ろ】

- ◆ 何を考えているのか、高橋さんの瞳は、ぼんやりとうつろだった。「空虚、发呆」

うつわ【器】

- ◆ 料理を器に盛る。「容器」
- ◆ 彼は全員をまとめるリーダーの器ではない。「才干、人才」

うでまえ【腕前】

- ◆ たいした腕前だ。結婚して 3 年もたつと、料理の腕前も上がる。「本领、手艺」

うぬぼれ【己惚れ】

- ◆ ちやほやされて育った彼は、うぬぼれが強い。彼女は美人だとうぬぼれている。「骄傲、自负」

うまれつき【生まれつき】

- ◆ 彼女がだれにでも優しいのは生まれつきの性格だ。「天性、天生」

うるおう【潤う】

- ◆ 畑が雨で潤った。「湿润」
- ◆ 臨時収入で懐が潤った。「宽裕、补益」

うわまわる【上回る】

- ◆ 今月の売上は、先月を大幅に上回っている。「超出、越出」

うんざり

- ◆ 食べすぎたので、料理を見ただけでうんざりする。「厌膩、厌烦」

うんよう【運用】

- ◆ 資産の運用を誤ると会社の経営が危なくなる。「运用」

えんかつ【円滑】

- ◆ 交渉が円滑に進んで安心した。「圆满、顺利」

えんきょく【婉曲】

- ◆ 日本語の婉曲な言い回しには、苦勞する。「婉转、委婉」

えんまん【円満】

- ◆ 紛争が円満に解決することを祈っている。「圆满、美滿」

おいこむ【追い込む】

- ◆ 彼女を自殺に追い込んだ原因は、友達のいじめだそうだ。「逼入、被迫…」
- ◆ 鶏を小屋に追い込む。「赶进」
- ◆ ゴール前で一気に追い込む。「最后阶段的努力,加劲」
- ◆ この行を前ページに追い込むこと。「挤排、移前」

おいて【於いて】

- ◆ 学業においても、運動においても、彼の右に出る者はいない。「在... 方面」

おう【負う】

- ◆ 現在の彼の成功は、母親の教育に負うところが大きい。「多亏、有赖于」
- ◆ 失敗した責任を負う。「担负、蒙受」
- ◆ 子どもを背中に負う。「背、负」

おおかた【大方】

- ◆ おおかたの予想どおり、小林氏は当選した。「大家、广泛的人们」
- ◆ おおかたの話は王さんから伺いました。「大部分、大致」

おおがら【大柄】

- ◆ 彼女には、大柄な模様の着物が似合う。「大花纹、大花样」
- ◆ 大柄な体格のわりに、彼は小心者だ。「大骨架」

おおげさ【大袈裟】

- ◆ 彼女の話は、いつも大げさだ。「夸张、夸大」

おおすじ【大筋】

- ◆ 事件のおおすじが、警察側から発表された。「梗概、主要经过」

おおまか【大まか】

- ◆ 彼は、何事にも、おおまかな人だ。「草率、马马虎虎」

おくびょう【臆病】

- ◆ うちの犬は、図体は大きいのにおく病で、猫を見ても逃げる。「胆小、怯懦」

おごる【奢る】

- ◆ 今度夕食をおごるから、今日の残業かわってくれない。「请客」
- ◆ 奢った生活をしている「奢侈」
- ◆ 口が奢る「讲究吃、品位高」

おしきる【押し切る】

- ◆ 彼女に押し切られて、卒業旅行はイギリスに行くことになった。「坚持到底、排除(反对、困难)」
- ◆ 干し草を押し切って馬の餌にする。「切断」

おしこむ【押し込む】

- ◆ 朝のラッシュ時は、駅員が乗客を電車に押し込んでいる。「塞进」

おしよせる【押し寄せる】

- ◆ 突然の夕立に、広場にいた人々が一斉に駅構内に押し寄せた。

「涌上来、蜂拥而至」

- ◆ 邪魔になる物は隅のほうに押し寄せておく。「挪到一边」

おそくとも【遅くとも】

- ◆ 今夜は、遅くとも8時には帰るよ。「至迟、最晚」

おそれ【恐れ】

- ◆ 大型の台風が上陸する恐れがあります。「忧虑、担心」
- ◆ 恐れを知らぬ年ごろ「害怕、初生牛犊不怕虎」

おそれいる【恐れ入る】

- ◆ わざわざ届けていただき、恐れ入ります。「是在不担当、不胜感激」
- ◆ 君の腕前には恐れ入った。「佩服」
- ◆ こんなに寒いのに水泳とは、恐れ入った。「感到意外、吃惊」

おだてる【煽てる】

- ◆ 彼は、おだてるとすぐいうことを聞いてくれる。「给戴高帽、煽动、怂恿」
- ◆ 豚もおだてりゃ木に登る。「受到怂恿猪也能上树。指经不起吹捧」

おちこむ【落ち込む】

- ◆ 不景気だから、収入も落ち込んでいる。「下降、下跌」
- ◆ 落選した野口候補は落ち込んでいる。「郁闷、不痛快」
- ◆ やせてほおが落ち込んでいる。井戸に落ち込んだ。「下陷、落入」

おてあげ【お手上げ】

- ◆ 毎日、雨続きでは、道路工事の仕事はお手上げだ。「束手无策、毫无办法」

おどおど【おどおど】

- ◆ 少年は何かにおびえているかのように、おどおどした目つきをしていた。「惴惴不安、心惊胆战」

おどす/おどかす【脅す】

- ◆ 彼は議員に対し、汚職を暴露するとおどしていた。「威胁、吓唬」

おのずから【自ずから】

- ◆ 今、何に興味があるか考えれば、おのずから、自分の進むべき道が見えてくる。「自然而然的」

おびえる【怯える】

- ◆ 小犬は、大きな犬が近くに寄ってきたのでおびえていた。「害怕、胆怯」

おびたしい【夥しい】

- ◆ 事故現場には、おびたしい量の血が流れていた。「大量、很多」

おびやかす【脅かす】

- ◆ あの選手も、新人選手に、レギュラーの座を脅かされている。「威胁」

おびる【帯びる】

- ◆ 秋になり、木の葉が赤みを帯びてきた。「帶有、含有」
- ◆ 剣を帯びる。「佩帶」
- ◆ 特別の使命を帯びている。「担负」

おまけ

- ◆ 子どもの頃、おまけが欲しくて、よくお菓子を買った。「減价」
- ◆ 全部買ってくだされば、それをおまけに差し上げます。「(作为贈品)附送、白送」
- ◆ おまけをつける。「添枝加叶、夸大其辞」

おもいつき【思いつき】

- ◆ ちょっとした思いつきから大発明が生まれることもある。「偶然的想法、设想」

おもむき【趣】

- ◆ 時には趣を変えて、庭にテーブルといすを出して食事をしよう。「情趣、风趣」
- ◆ それは以前とは趣を異にしている「情形、局面」

おもんじる【重んじる】

- ◆ 最近は、学歴よりも能力を重んじる企業が増えてきたそうだ。「重視、器重、尊重」

およぶ【及ぶ】

- ◆ 私の日本語能力は、ジョンさんの足元にも及ばない。「赶得上、匹敌」
- ◆ 被害が全国に及ぶ。「涉及、达到」

おりかえす【折り返す】

- ◆ 友人から手紙が届いたので、折り返し返事を書く。「折叠」
- ◆ 急用で、途中から折り返す。「返回」
- ◆ 折り返して電話する。「反复」

おろそか【疎か】

- ◆ 一円でもおろそかにしてはいけない。「疏忽」

おんわ【温和】

- ◆ この地方は、気候が温和なため、みかんの栽培に適しているそうだ。「温和」

～界

- ◆ 芸能界で長く生きていけるのは、ほんの一部の人だけだそうだ。「范围」

かいしゅう【回収】

- ◆ アンケート用紙を回収した。「回收」

がいする【害する】

- ◆ 彼の一言で、気分を害してしまった。「伤害、损害」
- ◆ 交通を害する。「妨碍」
- ◆ 人を害せんとしてわが身を害する。「害人反害己」

がいとう【該当】

- ◆ 該当事項に丸印をつける。「符合、适合」

がいとう【街頭】

- ◆ 卒業論文を書くために、街頭でアンケート調査をすることにした。「街头」

かいにゅう【介入】

- ◆ 両国の民間レベルの交流に、政治はできるだけ介入させたくない。「介入、插手」

かいほう【介抱】

- ◆ 病人を手厚く介抱した。「护理、服侍」

かえりみる【省みる】

- ◆ 過ちを省みない人は、進歩しないと思う。「反省、自問」
- ◆ 省みてやましいところがない。「问心无愧」

かおつき【顔つき】

- ◆ 息子は、性格も顔つきも、父親に似てきた。「相貌、样子」

かきまわす【掻き回す】

- ◆ スープの鍋をかきまわすと、いいにおいがした。「搅拌、混合」
- ◆ 会社の中をかきまわす。「捣乱、扰乱」

かくさ【格差】

- ◆ 企業によって、社員の待遇に格差がある。「差別、差距」

かけ【賭け】

- ◆ 佐藤さんは賭けごとに夢中になって、本業をおろそかにしている。「賭博」

かさばる【嵩張る】

- ◆ おみやげがかさばって、スーツケースのふたが閉まらない。「体積大、増大」

かさむ【嵩む】

- ◆ 今月は冠婚葬祭が多かったので、出費がかさんだ。「増大、增多」

かじょうがき【箇条書き】

- ◆ 要点を箇条書きにした。「一条条写、分项写」

かすか【微か】

- ◆ 遠くのほうからかすかに波の音が聞こえる。「微弱的、隐约、微微的」

かすむ【霞む】

- ◆ 富士山の山頂は、かすんでいてよく見えない。「云雾朦胧」
- ◆ 目がかすんで字がよく見えない。「模糊」

かする【掠る】

- ◆ バットは、ボールにかすただけだった。「掠过、擦过」

かそ【過疎】

- ◆ 町の過疎化に、町長は悩まされている。「过稀、过少」

～がたい

- ◆ 2年前の火災は、私にとっては忘れ難い出来事です。「不容易、难于」

かたこと【片言】

- ◆ 1歳半の娘は、片言だが話をするようになった。「只言片语」

かためる【固める】

- ◆ 基礎をしっかり固めて建てたビルだったので、地震の被害も少なかった。「巩固、加固」
- ◆ 荷物を固めておけ。「堆积、堆攢」

かたわら【傍ら】

- ◆ 私が絵を描く傍らで、猫が寝ている。「旁边」
- ◆ 彼は会社経営の傍ら、小説を書いている。「一边... 一边...」

かっきてき【画期的】

- ◆ 彼は画期的な発明をした。「划时代的」

がっくり

- ◆ 完走したとたん、がっくりと膝をついた。「突然无力的」
- ◆ 不合格と知り、がっくりときた。「颓丧、灰心」

がっしり

- ◆ 彼は、体ががっしりしている。「粗壮、健壮」

がっち【合致】

- ◆ 双方の希望が合致した。「一致、吻合」

がっちり

- ◆ あのチームはがっちりとスクラムを組んで、最後まで戦った。「牢

固、坚固、紧紧的」

- ◆ がっちり屋「守財奴」

かつて

- ◆ かつて見たこともないほど、美しい海だった。「至今(从未)」
- ◆ かつては記者だったこともある。「曾经」

かなう【叶う】

- ◆ 思いがかなって、彼と結婚することになった。「希望实现、如愿以偿」

かなわない【叶わない/適わない/敵わない】

- ◆ 体力では、彼にかなわない。「比不上」
- ◆ 今日は暑くてかなわない。「经不起、受不了」
- ◆ 叶わない恋(実現不可能である)。立つことも歩くことも敵わない(実現させる力がない)「不能实现」

かねて【予て】

- ◆ かねてから希望していた弁護士になることができた。「老早以前、事先」

かばう【庇う】

- ◆ 正義感が強い彼は、子供の頃から弱い者をかばっていた。「庇护、袒护」

かぶれる

- ◆ 化粧品で肌がかぶれ、かゆい。「起炎症」
- ◆ 彼はすっかり哲学にかぶれている。「著迷、热中」

かみ【加味】

- ◆ 田中さんの意見も加味したうえに、計画書を作成した。「惨加、采纳」
- ◆ 酢が加味した料理。「添加调味料」

からだつき【体つき】

- ◆ 山本さんは、モデルのような体つきをしている。「体形、身材」

からむ【絡む】

- ◆ あの人、お酒を飲むと、すぐに人にからむから、気を付けたほうがいい。「找茬纠缠、无理取闹」
- ◆ 彼は義理に絡まれていやとは言いかねた。「密切相关、紧密相连」
- ◆ つる草が木に絡む。「缠上、绕上」

かり【仮】

- ◆ 救急隊員は、かりの処置だけ行い、医者に任せた。「临时、暂时」
- ◆ これはかりのたとえ話だ。「假定」
- ◆ 仮の名。「化名」。仮の親「义父义母」

かれる【枯れる】

- ◆ このまま才能がかれていってしまうのだろうか。「枯竭衰竭」

かろうじて

- ◆ かろうじて、難を逃れることができた。「好容易才」

かわす【交わす】

- ◆ 二人は、一年後に結婚する約束を交わした。「互相、交換」

かんげん【還元】

- ◆ 企業の利益を、文化事業で会社に還元する。「归还」

かんさん【換算】

- ◆ 1 インチはセンチメートルに換算すると、約 2.54 センチメートルになる。「折合、换算」

がんじょう【頑丈】

- ◆ あの人には体が頑丈で、一度も病気になったことがない。「健壯、強壯」

かんじん【肝心】

- ◆ 細かいことに気をとられて、肝心な点を見落とす。「重要、首要」

かんせい【歓声】

- ◆ プール開きの日、プール中に水しぶきと歓声があがった。「欢声」

かんぺき【完璧】

- ◆ たくさん勉強したので、これでテストの準備は完璧だ。「完善、完美」

かんよう【寛容】

- ◆ 子供同士のケンカなので、寛容な態度で臨むことにした。「寛容」

がんらい【元来】

- ◆ 馬は元来優しい動物だ。「生来、本来」

かんろく【貫禄】

- ◆ 彼には部族の長としての貫禄がある。「尊严、威严、派头」

きがい【危害】

- ◆ 熊が人に危害を加える事件が起こった。「危害」

きかざる【着飾る】

- ◆ パーティーには、思い切り着飾って出かけましょう。「盛装、打扮」

きがね【気兼ね】

- ◆ 咳が止まらず、コンサートの間じゅう、まわりの人に気兼ねをした。「顾虑、拘谨、不自在」

きがる【気軽】

- ◆ いつでも気軽に飲める本格的な味の缶コーヒーが増えてきた。「舒畅、爽快」

きき【危機】

- ◆ あの芸能人同士のカップルは、しょっちゅう離婚の危機を噂されている。「危机」

ききめ【効き目】

- ◆ 塩分制限の効き目が出始め、近頃血圧が安定している。「效驗、效力、灵驗」

きざ【気障】

- ◆ あの男の紳士ぶったきざな振舞いは、みんなに嫌われている。「装模作样、摆臭架子」

きざし【兆し】

- ◆ その少年が罪を犯すような兆しは、学校でもまったくなかった。「兆头、征兆」

きしつ【氣質】

- ◆ 彼は、おだやかな氣質の人だ。「气质」

きしむ【軋む】

- ◆ 古い建物の中を歩くと、床がきしんで鳴った。「吱吱嘎嘎响」

きずく【築く】

- ◆ あの人には自分の力だけで、現在の地位を築き上げた。「建立、积累、筑成」

きだて【気立て】

- ◆ 彼女は気立てが優しいので、みんなに好かれている。「性情、脾气」

きたる【来る】

- ◆ きたる 10 月 10 日に運動会を行う予定です。「下次的」

きちっと【=きちんと】

- ◆ 子供は、母の言いつけを、きちっと守った。「好好的、牢牢的」
- ◆ きちんと部屋を片付けた。「整整齐齐」
- ◆ 勘定をきちんと払う。「准时、如期」
- ◆ きちんと腰かける。きちんと訳す。「端正、恰当」

きちょうめん【几帳面】

- ◆ 父は几帳面な人なので、私の生活態度には口やかましかった。「規矩矩矩、一丝不苟」

きっかり

- ◆ 8人できっかり8等分した。「正好、恰好」

きっちり

- ◆ きっちり3時に、この場所で会いましょう。「整」
- ◆ きっちり蓋をする。「严、无误差」

きっぱり

- ◆ 押し売りのような売り方なので、きっぱりと断わった。「果断、斩钉截铁」

きどう【軌道】

- ◆ モノレールは、1本の軌道にまたがって走る。「轨道」

きひん【気品】

- ◆ この絵は、実に巧みに描かれているが、気品に欠ける。「意境、品格、气度」

きふく【起伏】

- ◆ あの子は、山あり谷ありの、起伏の多い一生を送った。「起伏、起落」

きまぐれ【気まぐれ】

- ◆ きまぐれに布をつないでいったら、きれいなパッチワークの作品になった。「心血来潮、反复无常」

きまじめ【生真面目】

- ◆ あの子は生真面目すぎて、ときどき損をしている。「一本正经」

きまりわるい【決まり悪い】

- ◆ 初めてパーティーに招待された彼女は、きまり悪そうにモジモジしていた。「不好意思、难为情」

きゃしゃ【華奢】

- ◆ このドレスは、きゃしゃな感じの女性に着て欲しい。「苗条、纤细」

きゅうきよく【究極】

- ◆ 自分で納得する究極の作品ができる前に、先生は亡くなってしまった。「最终、极端」

きゅうくつ【窮屈】

- ◆ 子供は成長が早いので、去年の服がもう窮屈だ。「紧、瘦小」
- ◆ おじの家にいるのは窮屈だ。「感觉受拘束」

きゅうち【旧知】

- ◆ 今日の会は、旧知の人ばかりの集まりです。「故知、老友」

きょうい【驚異】

- ◆ あの子が合格するなんて、驚異だ。「惊异、惊奇」

きょうかん【共感】

- ◆ この本の著者の意見に共感した。「共感、共鸣」

きょうぐう【境遇】

- ◆ 親兄弟と引き離され、孤独な境遇に育った。「环境、处境」

きょうじる【興じる】

- ◆ 学生でありながら、芝居に興じて、学業をおろそかにしている。「感兴趣、以... 自娱」

きょうめい【共鳴】

- ◆ その政治家の発言に共鳴して、その人の属する政党に入った。「同感、赞同」

きょうれつ【強烈】

- ◆ あの子の強烈な個性は、彼の服装に表れている。「强烈」

きょくたん【極端】

- ◆ あの子の発言は、いつでも極端だ。「极端、过火」

きよらか【清らか】

- ◆ 赤ちゃんの瞳は、清らかであどけない。「清洁、干净」

きらびやか

- ◆ 花嫁は、きらびやかな衣装に身を包んでいた。「华丽、光辉灿烂」

きりかえる【切り替える】

- ◆ 休日には、頭を切り替えて、仕事を忘れたほうが良い。「转换、改换」

きわめて【極めて】

- ◆ あなたには、努力を続けて、学問の道を極めて欲しい。極めて重大な問題だ。「极其、非常」

ぎんみ【吟味】

- ◆ 良い料理は、材料を吟味することから始まる。「斟酌、挑选」

きんもつ【禁物】

- ◆ 高血圧の人に、漬物など塩分の多い食物は禁物です。「切忌、忌讳」

くいちがう【食い違う】

- ◆ 意見が大きく食い違い、議論にもならなかった。「不一致、有分歧」

くぐる【潜る】

- ◆ のれんをくぐって店に入る。「钻过」
- ◆ 法の網をくぐる。「钻法律空子」

くじ【籤】

- ◆ 席順を決めるため、くじを引く。「抓阄儿、抽签」
- ◆ 賞金にひかれて宝くじを買った。「彩票、奖券」

くすぐったい

- ◆ あまりにも大げさにほめられて、名だかくすぐったかった。「难为情」

ぐち【愚痴】

- ◆ 母は父のことで、いつも愚痴をこぼしていた。「发牢骚、抱怨」

くちずさむ【口ずさむ】

- ◆ 幼い頃、一緒に歌った歌を皆で口ずさんだ。「哼、吟、诵」

くちる【朽ちる】

- ◆ 彼の業績は、永遠に朽ちることなく、語りつがれる。「腐朽、衰败」

くつがえす【覆す】

- ◆ 今回の発見は、これまでの定説を覆す歴史できなものだ。「翻转、被推翻」

くっきり

- ◆ 空に、飛行機雲が、くっきりと見える。「清楚、显眼」

くっせつ【屈折】

- ◆ この小説家の心理状態には、屈折したものがある。「歪曲、扭曲」
- ◆ 屈折の多い海岸線。「弯曲、曲折」
- ◆ 光線は水に入ると屈折する。「折射」

ぐっと

- ◆ 駅を出ると電車はぐっとスピードを上げた。「一下子、一气的」
- ◆ 言葉にぐっと詰まる。「哑口无言」

くみあわせる【組み合わせる】

- ◆ 対戦するチームを組み合わせる。「分组、搭配」
- ◆ ブロックをうまく組み合わせ、城を作る。「搭在一起」

くろうと【玄人】

- ◆ 彼女の書道の腕前は玄人も驚く。「内行、专家」

けいき【契機】

- ◆ 病気を契機にタバコをやめた。「契机、转机」

けいそつ【軽率】

- ◆ 列車事故の原因は、運転手の軽率な判断にあった。「轻率、草率」

けがらわしい【汚らわしい】

- ◆ そんなひどい噂話は、聞くのもけがらわしい。「卑鄙、肮脏、猥亵」

げっそり

- ◆ 不合格の知らせに、息子はげっそりとやせてしまった。「急剧消瘦」
- ◆ 入試に落ちてげっそりする。「骤然灰心」

けつぼう【欠乏】

- ◆ 大雪に閉じ込められて、だんだん食料も欠乏してきた。「缺乏、缺少」

けとばす【蹴飛ばす】

- ◆ 大男にむこうずねを蹴飛ばされ、痛さにしゃがみこんでしまった。「踢开、踢倒」
- ◆ 申し出を蹴飛ばした。「拒绝」

けなす【貶す】

- ◆ お気に入りの洋服をけなされ、彼女は機嫌が悪い。「贬低、贬斥」

けんぎょう【兼業】

- ◆ 彼の家は農家といっても、お父さんが会社勤めをしている兼業農家だ。「兼营、兼业」

けんげん【権限】

- ◆ 審判の権限で試合は中止になった。「权限、权力」

けんざい【健在】

- ◆ 祖父は、田舎で健在だ。「健在」
- ◆ 彼の才能が健在であることをアピールした。「保持原有状态」

けんぜん【健全】

- ◆ 会社経営が健全である。「制度面的健全」
- ◆ 彼は健全な肉体と精神を兼ね備えている。「心身面的健全」

けんち【見地】

- ◆ 消費者の見地からすると、この決定は妥当なものと言える。「观点、立场」

げんみつ【厳密】

- ◆ 厳密な審査の末、彼女が選ばれた。「严密、周密」

けんめい【賢明】

- ◆ あの人は賢明な人なので、考えを一度聞いてみた方がよい。「明智、高明」

けんやく【儉約】

- ◆ 彼女は儉約家なので、貯金が増える一方だ。「节约、节省」

けんよう【兼用】

- ◆ そのTシャツは男女兼用だ。「两用、合用」

こうい【好意】

- ◆ 彼は、彼女にひそかに好意を抱いている。「好意、美意」

こうきょう【好況】

- ◆ 不況期が終わり、好況の兆しが見えてきた。「繁荣、景气」

こうこう【煌々】

- ◆ クリスマスのイルミネーションが、夜空にこうこうと輝いていた。「亮堂堂、辉煌」

こうじょ【控除】

- ◆ 父は、税金から祖母の分の扶養控除が受けられる。「扣除」

こうしょう【高尚】

- ◆ 彼の趣味は、クラシック音楽の鑑賞と演奏で、実に高尚なものばかりだ。「高深、高尚」

こうたく【光沢】

- ◆ こんな美しい光沢の生地は見たことがない。「光泽」

こうみょう【巧妙】

- ◆ 詐欺師は巧妙な手口で、被害者を信用させた。「巧妙」

こがら【小柄】

- ◆ 彼は小柄だが、一流の選手だ。「身材短小」
- ◆ 小柄な模様の服がよく似合う。「小花样、碎花纹」

ここ【個々】

- ◆ 条件や環境が異なるので、この問題は個々に検討すべきだ。「每个、各自」

ここち【心地】

- ◆ 上司にほめられ、天にも昇る心地がした。「感觉、心情」
- ◆ 寝心地のよいベッドを買う。「躺着的感覺」

こころえ【心得】

- ◆ 敬語の使い方の心得がないようでは、社会人として失格だ。「知识、经验、心得」

こころがける【心掛ける】

- ◆ 普段からよく歩くよう心掛けてください。「注意、留心、留意」

こころざす【志す】

- ◆ 彼は画家を志して、学校を退学した。「立志、志向」

こころづよい【心強い】

- ◆ あの人は、私たちにとって心強い味方だ。「放心、有把握」

こころぼそい【心細い】

- ◆ あの山に登るのに、この装備では心細い。「心中没底」
- ◆ 懐が心細くなる。「囊中羞涩」

こころみる【試みる】

- ◆ 新しい企画を試みたが、結果は失敗に終わった。「试试」

こころよい【快い】

- ◆ 夕方の風が頬に快い。「惬意」
- ◆ 彼は私のお願いを快く引き受けてくれた。「痛快、爽快」

ごさ【誤差】

- ◆ 多少の誤差を、最初から計算に入れて設計する。「误差」

こじれる【拗れる】

- ◆ 田中さんが参加したら、もっと話がこじれてしまった。「复杂化」
- ◆ こじれると手がつけれない。「别扭、执拗」

こだわる【拘る】

- ◆ 済んでしまったことに、いつまでも拘っていてもしょうがない。「执着」
- ◆ 小事に拘る。「拘泥」

こちょう【誇張】

- ◆ 彼は、自分の手柄を誇張して言い過ぎる。「夸张、夸大」

こつ

- ◆ こつをつかんでから、商売がうまくいくようになった。「秘诀、窍门」

こっけい【滑稽】

- ◆ 彼女は、はたから見ると滑稽なほど、髪の手入りに執着している。「滑稽、诙谐」

ことごとく

- ◆ 投資の失敗で、財産をことごとく失ってしまった。「一切、全部」

ことに【殊に】

- ◆ 今年の冬は殊に冷え込みが厳しい。「特別、格外、尤其」

ことによると【事によると】

- ◆ 約束はしたが、ことによると彼女はこないかもしれない。「或许、说不定」

こなごな【粉々】

- ◆ ガラスが割れて粉々になった。「粉碎、粉末」

このましい【好ましい】

- ◆ この頃、好ましくない事件が続いている。「可喜、令人满意」

こべつ【個別】

- ◆ 今日から2年生の個別指導が始まる。「个别」

コマーシャル

- ◆ 今の子供は、コマーシャルのおかげで、何でも知っている。「商务的、商业广告」

ごまかす【誤魔化す】

- ◆ 彼は都合が悪いと笑ってごまかす。「敷衍、蒙混」
- ◆ 税金をごまかす。「舞弊、作假」

こまやか【細やか】

- ◆ このペンダントは、模様が細やかで美しい。「细致」
- ◆ 下町は人情が細やかだ。「深厚、浓厚」

こめる【込める】

- ◆ この手料理は、母が心を込めて作ったものだ。「精心、贯注」
- ◆ 銃に弾丸を込める。「装填」

こもる【籠る】

- ◆ 部屋中にタバコの煙がこもってしまい、気分が悪い。「充满、不透气」
- ◆ 家に籠る。「闭门不出」
- ◆ 声が籠る。「声音(口齿)不清楚」
- ◆ 内に籠る。「闷在、憋在」

こゆう【固有】

- ◆ 能は日本固有の伝統芸能だ。「固有、特有」

こらす【凝らす】

- ◆ 目を凝らしてのぞいてみると、水面下にきれいな魚が見える。「凝、集中」

こりる【懲りる】

- ◆ 何度も失敗しているが、彼は懲りずにまた商売を始めた。「教训、惩罚(因吃过苦头而不敢再尝试)」

こる【凝る】

- ◆ 私は今、料理に凝っている。「热中、狂信」
- ◆ 凝った模様のセーターを編む。「煞费苦心，下了功夫」

こんき【根気】

- ◆ レース編みは、根気のいる仕事です。「耐性、耐心」

さいく【細工】

- ◆ 手作りの家具は、細工が精巧で美しい。「工艺、精细」
- ◆ 陰で細工をする。「玩弄技巧、耍花招」

さえぎる【遮る】

- ◆ 相手の言葉を遮ってしまい、口論になった。「遮拦、打断、阻挡」
- ◆ 新ビルによって日光が遮られる。「遮蔽、遮挡」

さえる【冴える】

- ◆ 疲れているのか、近頃顔色がさえない。「(否定)泄气、失望、无精打采」
- ◆ さえた腕。「纯熟、灵敏」
- ◆ 雨で紅葉がいちばんとさえる。「鲜明、清澈」

さける【裂ける】

- ◆ 秘密にすると約束したので、口が裂けても言わない。「撕裂」

さしかかる【差し掛かる】

- ◆ 橋の上にさしかかった時、向こうからやってくる母を見つけた。「路过、靠近」
- ◆ そろそろ雨季に差し掛かる。「临近」
- ◆ 木の枝が扉に差し掛かっている。「垂悬、笼罩在」

さしず【指図】

- ◆ 社長は部下たちに指図して、新しい契約をまとめさせた。「指示、吩咐、命令」

さしつかえる【差し支える】

- ◆ あまり親しくなりすぎると、仕事にさしつかえる。「妨碍、有影响」

さする【摩る】

- ◆ 父のくせは、考え込む時に、額をさすることだ。「抚摸、轻抚」

さぞ

- ◆ そんな手紙が届いたなんて、さぞびっくりなさったことでしょう。「想必、一定是」

さだまる【定まる】

- ◆ お天気が定まらないので出発できない。「穩定、安定」
- ◆ 方針が定まった。「決定、確定」

ざつ【雑】

- ◆ あの人には雑な性格なので、よく小さな失敗をする。「草率、粗枝大叶」

さっする【察する】

- ◆ 彼女の気持ちを察して、彼は優しい言葉をかけた。「推測、揣測」
- ◆ こちらの事情も少しは察してほしいものだ。「体谅、諒察」

さっと

- ◆ 冷たい風がさっと引き抜ける。「突然、驟然」
- ◆ メモにさっと目を通す。「很快」

さっぱりする

- ◆ シャワーを浴びてさっぱりした。「爽快」
- ◆ 今日は何かさっぱりしたものが食べたい。「清淡、不油膩」
- ◆ 売り上げがさっぱりだ。「冷清、糟糕」
- ◆ 試験のことはきれいさっぱりと忘れてしまった。「完全、徹底」
- ◆ さっぱりした身なりをしている。「整洁、利落」

さなか【最中】

- ◆ 食事の最中、歯が痛み出した。「正当中、最高潮」

さほど

- ◆ あの方は、さほど怒りっぽいわけではない。「(并不)那样」

サボる

- ◆ 彼女は、会社をサボってバーゲンに行った。「怠工、偷懶」

さわる【障る】

- ◆ 彼の言うことは、いちいち気に障る。「得罪、伤害感情」
- ◆ 夜ふかしは健康に障るぞ。「妨碍」

さんび【賛美】

- ◆ 彼女気高さを、皆が賛美した。「贊美」

しあがり【仕上がり】

- ◆ 料理長は、すべての料理の仕上がりをチェックする。「完成情況、做好准备」

しあげ【仕上げ】

- ◆ あの大工さんの仕上げは、いつもきれいだ。「作完的結果」
- ◆ 仕上げが肝心。「一錘定音」

しいて【強いて】

- ◆ こんな雨なのだから、強いて出かけることはない。「勉強一定」

しいる【強いる】

- ◆ 近所の付き合いで、商店会の行事に寄付を強いられた。「強迫」

しいれる【仕入れる】

- ◆ その日の朝に仕入れた新鮮な材料で、料理を作る。「購入、买入」
- ◆ インターネットで最新情報を仕入れた。「取得、获得」

しかける【仕掛ける】

- ◆ 明日の朝、早起きするため、目覚まし時計を仕掛けた。「設置、布置」
- ◆ いたずらを仕掛ける。「挑衅」
- ◆ 夕食の準備をしかけたところで電話が鳴った。「开始做」
- ◆ しかけてやめだ。「途中」

しきる【仕切る】

- ◆ 今回のパーティーの進行を、彼が仕切る。「主持、掌管」
- ◆ 部屋を二つに仕切って姉妹で使う。「隔开」

しくじる

- ◆ 今度はしくじらないよう、準備を万全にして試験に臨んだ。「失敗、失策」

しくみ【仕組み】

- ◆ 世の中の仕組みには、ときどき納得のいかないところがある。「規定、結構」

じざい【自在】

- ◆ 彼は新しい機械を自在に操る。「自由自在」

しじ【支持】

- ◆ 彼女の提案は、支持された。「支持、拥护」

したごころ【下心】

- ◆ 彼が急に親切になったのは、下心があるからに違いない。「用心、企图」
- ◆ 彼のしたごころを見抜く。「内心、本心」

したじ【下地】

- ◆ 彼女は下地ができていたので、上達が早かった。「素質、基础」

したしらべ【下調べ】

- ◆ 今日の公開授業のため、入念な下調べをした。「预习、预先调查」

したどり【下取り】

- ◆ 古い自動車を下取りしてもらい、新車を少々安く買った。「用旧物折价贴换新物」

したび【下火】

- ◆ 1時間の消火活動で、火はようやく下火になった。「衰退、微弱」

シック

- ◆ この部屋のインテリアはとてもシックだ。「雅致」

じっくり

- ◆ 旅行の計画を友人とじっくり相談する。「仔细的、踏踏实实」

しつけ【躾け】

- ◆ 彼女はしつけの厳しい家庭で育った。「教養、家教」

しとやか【淑やか】

- ◆ あの人の歩き方は、しとやかで上品だ。「端庄、稳重」

しなびる【萎びる】

- ◆ 水をやり忘れたので、花がしなびてしまった。「枯萎」

しなやか

- ◆ 体操選手の体は、とてもしなやかだ。「柔美、优美」

しのぐ【凌ぐ】

- ◆ 輸出の増加は、円安当時をしのぐ勢いだ「摆脱、抵御」

しぶい【渋い】

- ◆ このお茶は渋すぎる。「涩」
- ◆ 彼女は若いわりに、洋服の好みが渋い。「素雅、质朴」
- ◆ 娘の話を聞いて父は渋い顔をした。「不快、不满意」

しぶとい

- ◆ 彼はしぶとい打者なので、ここでピットを打つかも知れない。「頑強」
- ◆ まったくしぶといやつだ。「頑固、倔强」

しみる【染みる】

- ◆ 寒さが厳しく、骨身にしみる。「刺(骨)」
- ◆ Tシャツの背中に汗がしみ出ている。「染上、滲浸」
- ◆ 教訓が身にしみる。「铭刻」

しめい【使命】

- ◆ 与えられた使命を実行する。「使命」

しや【視野】

- ◆ 視力が落ちていなくても、視野が狭まったのなら、眼科で受診し

たほうがよい。「視野」

- ◆ 彼は広い視野に立つてものを考える。「眼界」

じゃっかん【若干】

- ◆ 予算が若干余ったので、新しいテレビを買った。「若干、少许」

ジャンル

- ◆ 本棚の本をジャンル別に整理してください。「種類、体裁、流派、风格」

しゅうし【終始】

- ◆ 彼の言い分は終始一貫していた。「从头到尾」

しゅうちゃく【執着】

- ◆ 父はこの土地に執着しているので、引っ越すことはないだろう。「留恋、执着、贪恋」

じゅうらい【従来】

- ◆ 従来どおりのやり方には限界がある。「一如既往」

しゅくめい【宿命】

- ◆ 何をやっても失敗ばかり、これが宿命なのだろうか。「宿命」

しゅっせ【出世】

- ◆ 彼は確実に出世するだろう。「成功、发迹、晋升」

じゅんじる【準じる】

- ◆ この場合は、今までの規則に準じて処罰するしかない。「以... 为标准」

しょう【仕様】

- ◆ もはやどうにもしょうがなかった。「办法」
- ◆ 箱の中にやり方の書かれた仕様書がある。「規格」

じょう【情】

- ◆ 私は二人の情にうたれ、協力を申し出た。「情面、人情」

しょうする【称する】

- ◆ あの人は、自分を完璧主義者と称している。「自称」
- ◆ 病氣と称して会社を休む。「假称、伪称」

しょざい【所在】

- ◆ 宮城県の県庁所在地は仙台だ。「所在地」
- ◆ 責任の所在を明らかにする。「所在」

しょじ【所持】

- ◆ 彼はいつもパスポートを所持している。「持、携帯」

しょっちゅう

- ◆ 彼は、しょっちゅう遅刻している。「经常、总是」

しょう【所有】

- ◆ 彼がこの土地の所有者だ。「所有」

しんそう【真相】

- ◆ 真相が明らかになるまで、事件の調査は続いた。「真相」

じんそく【迅速】

- ◆ 客の苦情を迅速に処理する。「迅速」

しんにん【信任】

- ◆ 彼を会長に信任する。「信任」

しんぼう【辛抱】

- ◆ 長年辛抱してきたが、やっと新しいアパートに移ることができた。「忍耐、忍受」

すえる【据える】

- ◆ 人形を台座に据えて飾った。「安設、放置」
- ◆ 背中中の痛い所に灸を据えた。「灸治」
- ◆ 目を据えて見る。「沉着、凝視」

すがすがしい【清しい】

- ◆ 高原の風と空気はすがすがしい。「清爽」

すくう【掬う】

- ◆ 縁日の屋台で金魚をすくう。「捞取、掬取」

すこやか【健やか】

- ◆ あの家の子供たちは、皆健やかに育っている。身も心も健やかでありたい。「健壮、健康」

すすぐ【漱ぐ,濯ぐ,雪ぐ】

- ◆ 彼は、努力して過去の汚名をすすいだ。「洗刷」
- ◆ 丁寧にすすぎ洗いをする。「洗滌」

すそ【裾】

- ◆ スカート丈が長いので、5センチメートルくらい裾を上げた。「下摆、裤脚」

すたれる【廃れる】

- ◆ 最近の流行は、すぐに廃れる。「过时、衰退」

ストレス

- ◆ 新しいお店の売り上げが伸びず、ストレスがたま一方だ。「精神压力」

すばしこい

- ◆ 泥棒はすばしこくて、逃げ足が早かった。「敏捷、利落」

すばやい【素早い】

- ◆ あの選手の攻撃はとても素早い。「快速、敏捷」

ずばり

- ◆ あいまいな意見が多い中で、彼だけがずばりと答えを出した。「击中要害、一语道破」

ずぶぬれ【ずぶ濡れ】

- ◆ 途中で川に落ちてしまい、小犬はずぶぬれだ。「全身湿透」

すみやかに【速やかに】

- ◆ この件に関しては、速やかに対策を立てる必要がある。「迅速、及时」

ずらっと

- ◆ あの店には、新商品がずらっと並んでいる。「成排的」

ずるずる

- ◆ あやふやな態度で、返事をずるずると引き延ばす。「拖拉、缓慢、不干脆」

すれちがい【すれ違い】

- ◆ 山登りの時は、知らない人同士でも、すれ違いざまに声をかけあう。「交错」

すんなり

- ◆ 彼女は、手足がすんなりとして背が高い。「苗条」
- ◆ 事件はすんなりと解決した。「顺利、不费力」

せいか【成果】

- ◆ 彼は営業の仕事で成果を収めた。「成果」

せいぜん【整然】

- ◆ 棚の上に、植木鉢が整然と並んでいる。「井然有序、有条不紊」

せいとう【正当】

- ◆ 彼の言い分は正当だ。「正当、合理」

せいめい【声明】

- ◆ その小国の指導者は、内外に緊急声明を発表した。「声明」

せかす【急かす】

- ◆ すぐに出発しますから、そう急かさないでください。「催促」

せじ【世辞】

- ◆ 彼はだれにでもお世辞を言う。「恭维、奉承」

ぜせい【是正】

- ◆ 不公平な給与体系の是正をする。「更正、订正」

せつじつ【切実】

- ◆ 今年の夏の水不足は切実だ。「切实、迫切」

せつない【切ない】

- ◆ 卒業して友達と離ばなれになるのは切ない。「悲痛、悲伤」

センス

- ◆ 彼女は洋服のセンスがよい。「品味、感觉」

ぜんてい【前提】

- ◆ 全員参加を前提に旅行の計画を立てる。「前提」

そつぽ

- ◆ けんかした後、妹は呼んでもそつぽを向いて返事をしなかった。「扭向一边、不理睬」

そびえる【聳える】

- ◆ 富士山は他のどの山よりもた高くそびえている。「耸立、伫立」

そらす【逸らす】

- ◆ 事故の悲惨さに思わず目にそらした。「回避、转移」

そる【反る】

- ◆ 材木は乾燥させないと、あとで床板などが反る。「弯曲、翹曲」
- ◆ 思いきり胸を反らせて深呼吸する。「身子向后弯、挺胸」

ぞんざい

- ◆ ぞんざいな受け答えをすると、その人自身の印象を悪くします。「草率、马虎」

たいしょ【対処】

- ◆ 相手が大量なので、対処を間違えると責任問題にもなりかねない。「处理、应付」

だいなし【台無し】

- ◆ 楽しみにしていたキャンプも、雨で台無しになった。「断送、糟蹋」

タイミング

- ◆ いつ頼みごとを切りだそうかとタイミングを見計らっている。「时机」

たくましい【逞しい】

- ◆ ひ弱だった彼も、苦勞してからすっかりたくましくなった。「坚强、旺盛、健壮」

たくみ【巧み】

- ◆ 漁師は、巧みに綱を操って魚を追い込んでいく。「巧妙、精巧」

たずさわる【携わる】

- ◆ この仕事に携わるのが私の小さい時からの夢でした。「参与、从事」

たっせい【達成】

- ◆ 売り上げの目標を達成する。「达成、完成」

たてまえ【建前】

- ◆ 商人は、お客さま第一を建前としている。「方针、原则」
- ◆ 本音と建前は別だ。「场面话」

たどる【辿る】

- ◆ 歴史をたどって、ことばの意味の変化を知る。「追溯、探索」
- ◆ 破滅の運命をたどる。「走向」

たばねる【束ねる】

- ◆ 洗った髪を一つに束ねる。「包、捆、束」
- ◆ 町内を束ねる。「管理、整顿」

だぶだぶ

- ◆ 今の若者のあいだでは、だぶだぶのズボンが流行している。「又肥又大」
- ◆ ソースをだぶだぶにかける。「满、盈」

たもつ【保つ】

- ◆ 安定した生活を保つためには、最低限の収入が必要だ。「保持、维持」

たやすい【容易い】

- ◆ 彼の技術があれば、一日で仕上げるのはたやすい。「容易、轻易」

たよう【多様】

- ◆ 日本でも、雇用形態は多様になってきた。「多种多样」

だるい

- ◆ 月曜の朝は、少し体がだるいように思う。「发倦、慵懒」

たるむ【弛む】

- ◆ 大きな仕事を一つ片づけたら、気がたるんでしまった。「松懈」

たんいつ【単一】

- ◆ 単一民族から成る国家は数少ない。「単一」

ちゃくもく【着目】

- ◆ 着目すべき点を間違えると、問題が思わぬ方向へ進んでしまう。「着眼、注目」

ちやほや

- ◆ 田中さんは一人っ子なので、ちやほやされて育った。「溺愛、娇养」

ちゅうこく【忠告】

- ◆ あの時、君の忠告がなければ、今頃私はどうなっていたかわからない。「忠告」

ちゅうしょう【中傷】

- ◆ そんな噂は、私を陥れるための中傷にすぎない。「中伤、诽谤」

ちょうほう【重宝】

- ◆ 彼女はよく気がつくので、皆から重宝されている。「器重、爱惜」
- ◆ いろいろに使えて重宝な用具。「便利、适用」

ちよくちよく

- ◆ 彼はちよくちよくこの店にくるので、近いうちに会えると思う。「时常、往往」

ちらっと,ちらりと

- ◆ 電車の中でちらっと見ただけなので、よく覚えていない。「一闪、一晃」

ついやす【費やす】

- ◆ 彼女は、一日のほとんどを読書に費やす。「花费」
- ◆ つまらないことでむだに時間を費やした。「浪費」

つうせつ【痛切】

- ◆ 挑戦者はチャンピオンに敗れて、力の差を痛切に実感した。「痛切、深切」

つかのま【束の間】

- ◆ 彼は、束の間の休暇を思いっきり楽しんだ。「转瞬、转眼之间」

つきなみ【月並み】

- ◆ 企画会議は長時間に及んだが、月並みな案しか出なかった。「平庸、平凡」
- ◆ 月並みの行事。「毎月」

つきる【尽きる】

- ◆ がむしやらに働いてばかりいると、体力がつかってしまう。「用完、

穷尽」

つくす【尽くす】

- ◆ 全力を尽くして戦ったが、いま一歩及ばなかった。「尽力、竭尽」

つくづく

- ◆ つくづく会社が嫌になった。「深切、痛切」
- ◆ つくづく考える。「仔细」

つげる【告げる】

- ◆ 別れを告げる場面は、涙を誘われる。「告知、通知」

つじつま【辻褄】

- ◆ この小説は前半と後半で矛盾があり、話のつじつまが合わない。「条理、首尾、前后」

つつしむ【謹む】

- ◆ 失礼にならないよう言葉を謹む。「谨慎、慎重」
- ◆ 病気中はタバコを謹みなさい。「节制」
- ◆ 謹んで新年のお慶びを申し上げます。「謹、敬」

つっぱる【突っ張る】

- ◆ そんなに最後まで突っ張るのなら、もう勝手にしなさい。「支撑、顶」
- ◆ 横腹が突っ張る。「突然剧痛」

つとめて【努めて】

- ◆ 複雑な話を、努めて簡単に伝えようとした。「尽量、尽可能」

つねる【抓る】

- ◆ 彼はあまりのうれしさに、夢ではないかと自分のほおをつねってみた。「拧、掐」

つる【募る】

- ◆ 交通安全の標語を、広く一般から募ることにした。「征集、招募」
- ◆ 離れれば離れるほど恋しさが募る。「越来越厉害」

つぶやく【呟く】

- ◆ 独り暮らしを始めてから、老人はしょっちゅう何かつぶやくようになった。「发牢骚」

つぶら【円ら】

- ◆ 子供のつぶらな瞳を見ていると、心がなごむ。「圓」

つぶる【瞑る】

- ◆ 顔の前で手を叩かれると、人は思わず目をつぶる。「闭眼」
- ◆ いましばらく目をつぶっていてください、そのうちに彼もわかってくれるでしょう。「假装不知道」

つまむ【摘む,撮む】

- ◆ どうぞ手でつまんで食べてください。「抓、挾」
- ◆ 要点をつまんで話す。「摘取」

つらなる【連なる】

- ◆ 国境近くに山々が連なっていた。「成排、连绵」
- ◆ 国際問題につらなる事件。「牽涉」
- ◆ 委員の末席につらなる。「列席」

つらぬく【貫く】

- ◆ 初志を貫いて、目的の大学に入った。「贯彻、坚持」
- ◆ 運河がしの中央を貫いて流れる。「穿过」

つらねる【連ねる】

- ◆ 修学旅行の一行は、5 台のバスを連ねて出発した。「连成一排」

てあて【手当】

- ◆ 給料には家族手当や住宅手当が含まれている。「津贴、补贴」

ていぎ【定義】

- ◆ 美しさの定義は、人それぞれ違うものです。「定义」

ていけい【提携】

- ◆ 関連企業との提携が、唯一残された会社再建の道です。「协作、合作」

ていさい【体裁】

- ◆ パーティの会場を体裁よく飾る。「门面、样式」
- ◆ 私はお体裁を言えない性格だ。「奉承话」

ておくれ【手遅れ】

- ◆ 医者に見せた時には、病気はかなり進行していて、もはや手遅れだった。「耽误、错过」

てがかり【手懸り】

- ◆ 犯人逮捕の手がかりを、一般市民からの情報によって得た。「线索、头绪」

てがける【手掛ける】

- ◆ 彼が手掛けた仕事のほとんどは、人々の高い評価を得ている。「亲自动手」

てかず【手数】

- ◆ 忙しいので、あまり手数がかかる料理は作れなかった。「麻烦、周折」
- ◆ 手数は多いが決定打がない。「出拳数」

てがる【手軽】

- ◆ 朝は、時間がないので、パンとコーヒーで手軽に食事を済ませる。「简单」

てきぎ【適宜】

- ◆ この料理は、仕上げにパセリを適宜散らすと良いだろう。「酌情、适当」

てぎわ【手際】

- ◆ 彼は手際よく魚を料理した。「手法、本领」

てくわす【出会う】

- ◆ こんな所であなたとてくわすなんて、思いもよらなかった。「偶然碰見」

てじゅん【手順】

- ◆ 作業に入るまえに手順を確認しておく。「程序、次序」

てぢか【手近】

- ◆ 彼は自分の手近にあった灰皿を差し出した。「手边、眼前」
- ◆ てぢかな例を挙げる。「常见、浅近」

てつきり【手つきり】

- ◆ てつきりあなたの上司だと思い挨拶したが、どうも人違いだったようだ。「一定、必定」

てっする【徹する】

- ◆ 彼らは、夜を徹して、翌日の会議の資料を準備した。「徹(夜)」

てなおし【出直し】

- ◆ 人材が集まらないので、計画は最初から出直しになった。「重新开始」

てはい【手配】

- ◆ 事件の容疑者が、今夜、指名手配された。「通缉」
- ◆ 食事の手配をする。「安排、部署」

てはず【手はず】

- ◆ 手はず通りなら、彼はもう到着している頃だ。「步骤、程序」

てほん【手本】

- ◆ まず手本を見せますから、後から自分でやってみてください。「范本」
- ◆ 彼は学生のよい手本だ。「模范、榜样」

てまわし【手回し】

- ◆ 司会者の手回しがよかったので、式は順調に進んだ。「预先筹划」

てもと【手元】

- ◆ 今あなたの手元にある印鑑をお借りしたいのですが。「身边、手头」

てんじる【転じる】

- ◆ ドラマでは、急に場面が転じて10年後になることがある。「转换、转变」

てんで

- ◆ 彼女はてんで作法を知らないので困る。「丝毫、完全、根本」

といあわせる【問い合わせる】

- ◆ 電話で商品について問い合わせる。「打听、查询」

とう～

- ◆ 当社のキャッチフレーズはざん新なものにしたい。「本、現在」

どうかん【同感】

- ◆ 記事を読んで、著者の主張には同感できるところが多々あった。「同感」

とうてい【到底】

- ◆ これだけ点差をつけられては、とうてい勝てないだろう。「无论如何也」

どうとう【同等】

- ◆ 私は、生徒達を全員同等に扱っているつもりだ。「同等」

どうどう【堂々】

- ◆ 意見を発表する間、堂々とした態度をくずさないようにした。「堂堂正正、无所顾忌」

どうにか

- ◆ どうにか彼はこの窮地を切り抜けた。「总算、好歹」

どうやら

- ◆ どうやら雨も上がったようだから、外に出掛けよう。「多半、大概」
- ◆ 10時の飛行機にどうやら間に合いそうだ。「好歹、好容易」

とおざかる【遠ざかる】

- ◆ 汽笛がだんだんと遠ざかる。「离远」
- ◆ 心臓を患って以来久しく酒とたばこから遠ざかっている。「节制、疏远」

とかく

- ◆ 12月はとかく忙しくて、おちつかない。「这样那样、不知不觉之间」
- ◆ 寒い時にはとかく風邪を引きやすい。「动不动、总是」

とがめる【咎める】

- ◆ 彼は理由もなく人をとがめることはしない。「责备、责难」
- ◆ 深夜、警官にとがめられる。「盘问」
- ◆ とがめるから傷をいじっちゃいけないよ。「红肿、发炎」

ときおり【時折】

- ◆ 時折彼はこの家にやってくる。「有时、偶尔」

とぎれる【途切れる】

- ◆ 話がとぎれて気まずい沈黙の時間が流れた。「间断、中断」

どくじ【独自】

- ◆ 独自の製品を開発しないと、会社の業績は上がらないだろう。「独自」

とげる【遂げる】

- ◆ 彼は獣医になるという目的を遂げた。「达到、完成」

とだえる【途絶える】

- ◆ 犯人の足どりはここで途絶えている。「中断、断绝」

とっさ【咄嗟】

- ◆ 地震が起こった時、私はとっさにガスの火を消した。「猛然、立刻」
- ◆ とっさの機転。「急中生智」

とつじょ【突如】

- ◆ 突如彼は席を立ち、そのまま教室から出て行った。「突然」

とどこおる【滞る】

- ◆ 朝、夕のラッシュ時は、車の流れが滞る。「堵塞」
- ◆ 事務の滞ったのをかたづける。「耽搁、延迟」

ととのえる【整える,調える】

- ◆ 彼女はデートの前に、服装をもう一度整えた。「整理」
- ◆ 交渉をととのえる。「达成、谈妥」

となえる【唱える】

- ◆ 彼はこの説を唱えた最初の人だ。「提倡、主张」

とぼける【恍ける】

- ◆ 自分の立場が悪くなると、父はすぐとぼける。「装胡涂」
- ◆ 恍けるのがうまい。「出洋相、搞滑稽」

とぼしい【乏しい】

- ◆ もう三ヶ月も失業中なので、貯金が乏しくなってきた。「缺乏」

ドライ

- ◆ 娘はドライな性格だと思われているが、本当はあれで涙もろい。「淡漠、理智」
- ◆ ドライな取り扱い。「枯燥无味」

トラブル

- ◆ お客様とのトラブルは絶対避けてください。「纠纷」
- ◆ エンジントラブルで車が走行不能になる。「故障、事故」

とりあえず【取り敢えず】

- ◆ 母が入院したとの知らせに、とるものもとりあえず病院に駆けつけた。「赶忙、急忙」
- ◆ とりあえずビールをくれ。「暂时、姑且」

とりわけ

- ◆ 素晴らしい作品ばかりだったが、とりわけ彼女の絵は際立っていた。「尤其、格外」

とろける【蕩ける】

- ◆ 最高級のフランス料理を食べて、舌がとろけそうだった。「溶化」
- ◆ とろけそうな笑顔。「心蕩神馳」

どわすれ【度忘れ】

- ◆ 先生の名前を度忘れして恥をかいた。「一时想不起来」

とんだ

- ◆ 交通事故で人を死なせるなんて、とんだことをしてしまった。「意外的」
- ◆ おまえはとんだことをしてくれたね。「严重的」

ないし

- ◆ 英語を学ぶために、アメリカないしイギリスに行きたい。「或者」
- ◆ 完成には5年ないし10年かかるだろう。「到、至」

ないしょ【内緒】

- ◆ 花びんを割ってしまったことを、父には内緒にしておいた。「瞒着、秘密」

ないしん【内心】

- ◆ 間に合ったから良かったものの、内心冷や冷やした。「内心、心中」

なおさら【尚更】

- ◆ 熱があるのならなおさらのこと、旅行は中止した方がいい。「更加、越发」

なげく【嘆く】

- ◆ 母は、息子が勉強しないで遊んでばかりいると嘆いた。「叹惋、

哀叹」

なげだす【投げ出す】

- ◆ 練習がつらくて、途中で投げ出してしまった。「放弃、抛弃」
- ◆ 泥棒は手提げ金庫を投げ出して逃げた。「扔下、甩」
- ◆ 命を投げ出す。「豁出」

なごやか【和やか】

- ◆ お茶を飲みながら和やかに語り合った。「和谐」

なごり【名残】

- ◆ 冬のなごりの雪が、まだあちこちに見えた。「残余」
- ◆ いつまではなしても名残は尽きない。「惜別、依恋」

なさけ【情け】

- ◆ 人の情けにすぎるのもよいが、自分の努力が肝心だ。「同情、慈悲」
- ◆ 情けを知る年ごろ。「爱情、恋情」
- ◆ なさけ容赦もなく。「情面、情义」

なさけない【情けない】

- ◆ こんなやさしい漢字も書けないなんて、情けない。「令人遗憾、可怜」
- ◆ 試験に不正をやるとは情けない。「可耻、可鄙」

なさけぶかい【情け深い】

- ◆ 情け深い人が、捨てられた子猫を拾って育ててくれた。「仁慈、富于同情心」

なじる【詰る】

- ◆ 他人の失敗をなじるだけでは、問題は解決しない。「责问、责备」

なだかい【名高い】

- ◆ この村はブドウの産地として名高い。「有名、著名」

なつく【懐く】

- ◆ 犬好きの山田さんにはどんな犬でもよくなつく。「接近、喜欢」

なにげない【何気ない】

- ◆ 何気なく口にした一言が人を傷つけることもある。「无意、无心」
- ◆ 彼は何気ない様子で席についた。「若无其事、假装没事」

なにとぞ【何卒】

- ◆ 契約の件は、なにとぞよろしくお願いします。「请…」

なにより【何より】

- ◆ 健康には睡眠が何よりだ。「再好不过、最好」
- ◆ 漫画が何より好きだ。「比什么都」

なまぐさい【生臭い】

- ◆ 料理した後、魚の生臭いにおいが消しえない。「腥、膻」

なまぬるい【生ぬるい】

- ◆ 真夏の太陽に温められて、海の水は生ぬるくなっていた。「微暖」
- ◆ そんな生温いやり方ではだめだ。「不太徹底、不太严格」

なまみ【生身】

- ◆ 生身の人間だから涙も流すし、興奮して熱くもなる。「肉身、肉体」

なめる【嘗める,舐める】

- ◆ ネコは体をなめて傷を治す。「舔」
- ◆ 試験をなめてかかったら、0点を取ってしまった。「轻视、小看」
- ◆ 辛酸をなめる。「尝受、经历」

ならびに【並びに】

- ◆ 裁判官、検事並びに弁護士は、司法試験に合格しなければならない。「以及」

なりたつ【成り立つ】

- ◆ みんなが法律を守らなければ、社会は成り立たない。「不能维持」
- ◆ 両者の間で契約が成り立ちました。「谈妥」
- ◆ 日本は大小多数の島から成り立つ。「构成、组成」

なれなれしい【馴れ馴れしい】

- ◆ 一度お茶を飲んだだけなのに、恋人のようになれなれしい態度をとる。「过分亲昵」

なんだかんだ【何だ彼んだ】

- ◆ 学校を卒業してから、なんだかんだで 20 年になる。「这样、那样」

なんなりと

- ◆ 困ったら、どうぞ遠慮せずになんなりと相談してください。「无论什么、不管什么」

にかよう【似通う】

- ◆ あの二人は、姉妹のように顔が似通っている。「相似、类似」

にぎわう【賑う】

- ◆ 年末の大売出しで、デパートはにぎわっていた。「热闹、繁华」

にげだす【逃げ出す】

- ◆ 困難にぶつかって逃げ出していては何も解決しない。「逃跑、逃避」

にじむ【滲む】

- ◆ 一生懸命働く父の額には、汗がにじんでいた。「滲」
- ◆ 手紙に思いやりがにじんでいる。「反映出」

にせもの【偽者】

- ◆ だまされて、にせものの絵を買わされた。「假冒者」

になう【担う】

- ◆ 彼は、次の時代を担う有能な人材だ。「肩負、负担」

にゅうしゅ【入手】

- ◆ マイケル・ジャクソンのコンサートの切符は、入手が困難だ。「得到、取得」

にんじょう【人情】

- ◆ 彼は人情が厚いので、困った時は頼りになる。「人情」

にんめい【任命】

- ◆ 開発チームのリーダーに任命されて、責任の重さを感じた。「任命」

ぬけだす【抜け出す】

- ◆ 経済は、いよいよ不況を抜け出して、好況の局面に入った。「摆脱」

ね【音】

- ◆ 静かな夜、誰かが吹く笛の音が聞こえてきた。「乐音」
- ◆ つらい練習に音を上げた。「叫苦」

ねいろ【音色】

- ◆ バイオリンの音色にはどこかさびしさがある。「音色」

ねうち【値打ち】

- ◆ これは古い品だが、こつとう品としての値打ちはない。「价值」

ねじれる【捩れる】

- ◆ ねじれたくぎは使い物にならない。「弯曲、扭歪」
- ◆ あいつは性格がねじれている。「乖僻」

ねたむ【妬む】

- ◆ 出世をねたんだ人から、彼はいやがらせを受けた。「嫉妒」

ねだる

- ◆ 結婚 10 年目の記念に、妻は夫にダイヤモンドの指輪をねだった。「死乞白赖的要求」

ねびき【値引き】

- ◆ 閉店近くになると、食品は一斉に値引きされて安くなる。「降价、减价」

ねまわし【根回し】

- ◆ 会議の前に出席者に根回ししておいたので、提案はすんなり通った。「事前説明、打下基礎」

ねる【練る, 錬る】

- ◆ うどんは、粉に水と塩を加えてよく練って作る。「搅拌、揉和」
- ◆ 胆力を錬る。「锻炼」
- ◆ 構想をねる。「斟酌、推敲」

ねんちょう【年長】

- ◆ 彼は私より3歳、年長だ。「年长」

ノイローゼ

- ◆ 仕事が性格に合わなかったせいで、ノイローゼになった。「神経過敏、神経衰弱」

のうにゅう【納入】

- ◆ 期限までに授業料を納入する。「交纳、缴纳」

のがす【逃す】

- ◆ 釣り糸が切れて、大きな魚を逃してしまった。「放过、错过」

のがれる【逃れる】

- ◆ 台風から逃れるために、漁船は進路を変えた。「逃避、摆脱」

のきなみ【軒並み】

- ◆ 隣近所が、軒並み泥棒の被害にあった。「每家」
- ◆ 公共料金がのきなみ値上げされた。「一律」

のぞましい【望ましい】

- ◆ 応募書類は、事前に書いてくることが望ましい。「最好、最理想」

のぞむ【臨む】

- ◆ 十分に準備をして試験に臨んだ。「面对、参加」

のっとる【乗っ取る】

- ◆ 飛行機が、武器を持った数人の男に乗っ取られた。「劫持、侵占」

のどか【長閑】

- ◆ 風もないのどかな春の1日を、恋人と過ごした。「和暖、晴朗」
- ◆ 試験が終わって、長閑な気持ちで一日を送る。「悠闲、宁静」

ののしる【罵る】

- ◆ だまされた彼は、相手のことをののしった。「漫骂、咒骂」

のべ【延べ】

- ◆ この建物の延べ床面積は500平方メートルだ。「共计、总计」

はあく【把握】

- ◆ あまりに突然だったので、事態を把握するのに時間がかかった。「掌握」

はいけい【背景】

- ◆ 犯罪の背景には、少年時代の貧しい環境がある。「背景」

はいご【背後】

- ◆ 事件の背後に、大物政治家の影がちらつく。「背后、幕后」

はいしゃく【拝借】

- ◆ 事態を解決するために、あなたのお知恵を拝借したい。「帮、借」

はいぶん【配分】

- ◆ 遺産の配分をめぐる、相続人の間で争いが起きた。「分配」

はいれつ【配列】

- ◆ コンビニやスーパーでは、商品の配列に相当の工夫がある。「排列」

はかどる【捗る】

- ◆ 仕事が思ったよりはかどったので、早く帰ることができた。「进展顺利」

はかない【儂い, 果敢ない】

- ◆ 10歳のはかない一生を終えた。「短暂」
- ◆ はかない夢に終わる。「虚幻」

はぐ【剥ぐ】

- ◆ 強盗は、身ぐるみはいですべてを持ち去った。「扒下、剥下」
- ◆ 罰として官位を剥ぐ。「剥奪」

はくがい【迫害】

- ◆ 権力者の迫害に耐えて正義を貫いた。「迫害」

はくじょう【白状】

- ◆ 今だから白状するが、実は昔、悪いことをしたことがある。「坦白、招认」

ばくぜん【漠然】

- ◆ 彼のあいまいな態度に、彼女は漠然とした疑いをもった。「含糊、模糊、隱隱」

はげます【励ます】

- ◆ 傷ついた友人を励ました。「激励、鼓励」

はげる【剥げる】

- ◆ 壁のペンキがはげたので塗り直した。「剥落」

はじく【弾く】

- ◆ このコートは防水加工がしてあって水をはじく。「防、抗」
- ◆ 弦を弾く。「弾」

はじらう【恥らう】

- ◆ 彼女は恥じらって、呼ばれてもステージに上がらなかった。「害羞」

はじる【恥じる】

- ◆ 世間に恥じるような行為をしてはならない。「羞愧、慚愧」

はしわたし【橋渡し】

- ◆ 家を売りたい人と買いたい人がいたので、その橋渡しをした。「搭橋、中间人」

はずむ【弾む】

- ◆ 新たな期待にところが弾む。「情緒高涨」
- ◆ 5階まで駆け上がったら息が弾んだ。「气喘」
- ◆ お礼は弾むからよろしく頼むよ。「(一高兴、一狠心)拿出很多钱」
- ◆ このボールはよく弾む。「跳、蹦、弹」

はそん【破損】

- ◆ 破損したガラス窓から冷たい風が吹き込んできた。「破損、损坏」

はっせい【発生】

- ◆ 霧が発生したので、高速道路で事故が多発した。「发生」

はつみみ【初耳】

- ◆ そんなこと知らなかった。初耳だ。「初次听到」

はて【果て】

- ◆ 冒険を求めて世界の果てまで旅行した。「边际、尽头」

ばてる

- ◆ 夏の暑さに、すっかりばててしまった。「疲乏、精疲力竭」

はなはだ【甚だ】

- ◆ あのチームが負けたのは、はなはだ残念だ。「太、非常」

はなばなしい【華々しい】

- ◆ 若い時は華々しく活躍したが、最近は目立たない。轰轰烈烈」
- ◆ 華々しい結婚式。「豪华、堂皇」

はばむ【阻む】

- ◆ 氷の割れ目が阻み、冒険家は、それ以上進めなかった。「阻碍、阻挡」

はまる【嵌まる】

- ◆ 型にはまったこれまでの生活を捨て、自由に生きることにした。「束縛、陷入」
- ◆ その条件にぴったりはまる。「恰好合适」
- ◆ テレビゲームにはまる。「热中、入迷」

はやす【生やす】

- ◆ 兄は最近口ひげを生やしている。「留」
- ◆ ついに彼も、この土地に根を生やした。「扎根、使～生長」

はらはら

- ◆ 運転手がスピードを出すのではらはらした。「捏一把汗、心惊胆战」
- ◆ 桜の花びらがはらはらと舞う。「飘落」

ばらまく【ばら蒔く】

- ◆ 財布の口が開いていたのに気付かず、小銭をばらまいてしまった。「散布、到处～」

はるか【遙か】

- ◆ はるかかあなたの水平線から朝日が昇ってきた。「远方、遥远」

はれる【腫れる】

- ◆ なぐられて、目の回りがはれた。「肿」

はんじょう【繁盛】

- ◆ 安くてうまいラーメンが評判になって、お店が繁盛している。「繁盛」

はんする【反する】

- ◆ 規則に反すると、罰を与えられる。「违反」
- ◆ 父親の希望に反して学者にはならなかった。「相反」

ばんのう【万能】

- ◆ この薬は万能で、どんな病気にも効く。「万能、全能」

はんば【半端】

- ◆ みんなで分けたら半端がでたので、ほしい人に余計にあげた。「零碎、零散」
- ◆ 半端な態度はよくない。「不彻底」
- ◆ 半端な人間になるな。「无用的人」

はんぱつ【反発】

- ◆ 学生の反発が強いので、夏休みの補習は中止した。「反抗、反感」
- ◆ 磁石の同極は反発しあう。「排斥」

ひいては

- ◆ 人の世話をすることが、ひいては自分のためにもなる。「不但～而且、进而」

ひかえる【控える】

- ◆ 最近太ったので、甘い物をひかえている。「控制、抑制」
- ◆ 大切なことを手帳にひかえておく。「记录」
- ◆ 戦車部隊が次の攻撃に備えて控えている。「等候、待命」

ひかん【悲観】

- ◆ いつまでたっても成績が上がらないのを悲観して、退学してしまった。「悲观」

ひごろ【日頃】

- ◆ 彼の成功は、日頃の努力が実を結んだものだ。「平时、平常」

ひそか【密か】

- ◆ 二人は誰にも気付かれず、ひそかに愛し合っていた。「暗中、悄悄」

ひたす【浸す】

- ◆ 干しシイタケは、水に浸して、戻してから料理する。「浸泡」

ひたすら【只管】

- ◆ 彼は、ただひたすら小説を書き続けた。「只顧、一味」

ひっかく【引っ掻く】

- ◆ 猫を無理に抱こうとしたら、つめで腕をひっかかれた。「挠、抓」

ひっしゅう【必修】

- ◆ 英語は必修だが、美術は選択科目だ。「必修」

びっしょり

- ◆ 暑かったので、汗をびっしょりかいた。「湿透」

ひつぜん【必然】

- ◆ 古いものが消え去り、新しいものが主流になるのは、歴史の必然だ。「必然」

ひってき【匹敵】

- ◆ 彼は高校生だが、大人の選手に匹敵する実力を持っている。「匹敌、比得上」

ひといき【一息】

- ◆ この仕事が終わったら、一息入れてコーヒーでも飲もう。「稍微休息一下」
- ◆ 一息つくひまもないぐらい忙しい。「歇口气」
- ◆ 一息に仕上げる。「一口气」
- ◆ 彼はもう一息のところで負けた。「一把劲儿」

ひとがら【人柄】

- ◆ 彼女は美人な上に、人柄もいいので、みんなに好かれている。

「人品、人格」

ひとすじ【一筋】

- ◆ 彼は忍耐一筋の苦勞人なので、失敗してもくじけない。「一心一意」

ひとめ【人目】

- ◆ 逃亡中の犯人は、昼間は人目につくので、夜行動した。「众目」

ひどり【日取り】

- ◆ 退院の日取りは、今週中に決まる。「日期、日程」

ひなた【日向】

- ◆ 猫が、日向で気持ちよさそうに眠っている。「朝阳的地方」
- ◆ 日向でほこりを立てる。「没事找事」

ひび【罅】

- ◆ そのアパートは、建ってから 30 年にもなるので、壁にひびが入っている。「裂缝、裂纹」
- ◆ 友情にひびが入った。「人的关系发生裂痕」

ひやかす【冷やかす】

- ◆ 新婚の彼を周りの女子社員がいつも冷やかしている。「调侃、开玩笑」

ひょっとしたら

- ◆ ひょっとしたら雨が降るかもしれないから、傘を持って行こう。「也许、或许」

ひらたい【平たい】

- ◆ 平たい皿に料理を美しく盛り付ける。「平、扁平」
- ◆ 平たい言葉で述べる。「浅显、简单」

ふい【不意】

- ◆ 不意に呼び止められて、びっくりした。「冷不防、突然」

ブーム

- ◆ 社交ダンスが、最近ブームになっている。「流行、潮流」

ぶかぶか

- ◆ 靴がぶかぶかだったので、走ったら脱げてしまった。「肥大」

ふくれる【膨れる】

- ◆ 夕食後、お腹がふくれたので、眠くなった。「膨胀」
- ◆ あの子は、叱られるとふくれた。「噘嘴、不高兴」

ふさわしい【相応しい】

- ◆ ホテルでのパーティーには、その場にふさわしい服装で出かける。「相称、相符」

ふしん【不審】

- ◆ 夜遅く一人でぶらついていたら、不審に思われて、警察に通報された。「可疑」

ふしん【不振】

- ◆ 心配事があって、食欲不振になった。「不佳」

ぶつぎ【物議】

- ◆ 脳死の判定基準が公表され、物議をかもしている。「公众的批评」

ふっきゅう【復旧】

- ◆ 大地震のあと、懸命の復旧作業が続けられた。「恢复原状」

ぶつし【物資】

- ◆ 災害にあった国に、食料や医薬品などの物資を援助する。「物资」

ふとう【不当】

- ◆ みんなと同じように働いているのに、私だけ給料が不当に低い。「不合理」

ぶなん【無難】

- ◆ 良く知らない人に対しては、丁重に接する方が無難だ。「无可非议、说得过去」

ふへん【普遍】

- ◆ 教科書の記述は、普遍的なものが望ましい。「普遍」

ふまえる【踏まえる】

- ◆ 理想もよいが、常に現実を踏まえて計画を立てるべきだ。「依据、根据」
- ◆ 揺れている甲板をしっかりと踏まえた。「踏、踩」

ふみこむ【踏み込む】

- ◆ 表面だけの議論ではなく、もう一步踏み込んだ意見がほしい。「跨进」

ふらふら

- ◆ 徹夜した次の日は疲れてふらふらだった。「摇晃、晕乎乎」
- ◆ 考えがふらふらと定まらない。「游移不定」

ぶらぶら

- ◆ 暇なので、町をぶらぶらした。「溜达」

- ◆ 定年退職した父は、家でぶらぶらしている。「赋闲」

ふり

- ◆ お年寄りが困っていたら、知らないふりをせずに助けよう。「装作、假装」

ふりかえる【振り返る】

- ◆ 声をかけられて振り返ると、学生時代の友人だった。「回头看」
- ◆ 過去を振り返って反省する。「回顾、回首」

ふりだし【振り出し】

- ◆ 容疑者が犯人ではなかったことが判明し、捜査は振り出しに戻った。「出发点、最初」
- ◆ 振り出しの日付。「开出(票据)」

ふるわせる【震わせる】

- ◆ 小犬は、雨にぬれて全身を震わせていた。「使～哆嗦」

ふんしつ【紛失】

- ◆ 旅行中パスポートを紛失し、予約した飛行機に乗れなかった。「丢失」

ふんだん

- ◆ ハリウッド映画は、資金をふんだんに使って作られるので、豪華で面白い。「大量、很多」

へいこう【閉口】

- ◆ 暑い日に、クーラーもないところで、1時間も待たされて閉口した。「受不了、吃不消」
- ◆ 彼は問い詰められて閉口した。「闭口无言」

へきえき

- ◆ あの人の自慢話にはへきえきする。「感到为难、够人」

ぺこぺこ

- ◆ お腹がすいてぺこぺこだ。「饿、空」
- ◆ 上役にぺこぺこする。「点头哈腰」

へだたる【隔たる】

- ◆ 街から遠く隔たった農村に、彼女は暮らしている。「距离、相隔」

べんかい【弁解】

- ◆ みんなに迷惑をかけたのだから、弁解するより、まず謝るのが先だ。「辩解」

ほうしき【方式】

- ◆ 正確な統計資料を作るため、新しい計算方式を採用した。「方式」

ほうじる【報じる】

- ◆ 犯人逮捕のニュースが報じられた。「報知」
- ◆ 恩に報じる。「报答」

ぼうぜん【茫然】

- ◆ 地震で家が全壊し、しばらくぼう然としていた。「茫然若失」

ほうりこむ【放り込む】

- ◆ 突然お客さんが来たので、荷物を押し入れに放り込んだ。「投入、扔进去」

ほうりだす【放り出す】

- ◆ 疲れると、勉強を放り出してテレビを見る。「放弃、丢开」
- ◆ 学校を放り出される。「开除」

ぼける【惚ける, 呆ける, 暈ける】

- ◆ この写真はピントがぼけている。「模糊」
- ◆ 年を取って頭がぼけてしまった。「糊涂、发呆」

ほころびる【綻びる】

- ◆ 古いシャツの縫い目がほころびていた。「开线」
- ◆ 梅の蕾が綻び始める。「绽开」

ほっさ【発作】

- ◆ 彼の自殺は、遺書もなく、発作的なものだったらしい。「突然性的、发作性的」

ぼっしゅう【没収】

- ◆ ブランド品のにせものを製造していた業者が逮捕され、製品は全部没収された。「没收」

ほっそく【発足】

- ◆ ボランティアの連絡組織が発足した。「成立」

ほっと

- ◆ けがが意外と軽かったので、ほっとした。「松了一口气」

ほどける【解ける】

- ◆ 固く結んであったので、ひもがなかなかほどけなかった。「解开、松开」

ほどこす【施す】

- ◆ 救急車が到着する前に、応急処置を施した。「施行」
- ◆ 恩恵を施す。「周济、施舍」
- ◆ おのれの欲せざるところを人に施すことなかれ。「己所不欲勿施于人」

ほとり

- ◆ そのホテルは、湖のほとりにあって景色が良かった。「边、畔」

ぼやく

- ◆ 彼は、給料が安いと、いつもぼやいている。「嘟哝、发牢骚」

ぼやける

- ◆ 霧のため、景色がぼやけてよく見えない。「模糊、不清楚」

ほろびる【滅びる】

- ◆ 千年続いた王国は、隣国との戦争に敗れ滅びた。「灭亡、灭绝」

ほんかく【本格】

- ◆ 画家の弟子になって、油絵を本格的に学んだ。「正规、正式」

ほんね【本音】

- ◆ 本音を聞き出そうとしたが、彼はなかなか明かそうとしなかった。「真心话」

ほんば【本場】

- ◆ 上海で本場の中華料理を味わう。「发源地」

まえおき【前置き】

- ◆ 前置きは抜きにして、すぐに本題に入ろう。「开场白」

まえもって【前もって】

- ◆ 前もって地図で調べておいたので、道に迷わないですんだ。「事先、预先」

まかなう【賄う】

- ◆ 生活は夫の給料で賄っている。「维持、提供」

まぎらわしい【紛らわしい】

- ◆ 最近では似たような名前の会社が多いので、紛らわしい。「容易混淆、不易分辨」

まぎれる【紛れる】

- ◆ たいくつな時、音楽を聞いていると、気が紛れる。「解闷、派遣」

まごつく【間諛付く】

- ◆ 初めてのところなので、何がどこにあるのかわからず、まごついた。「茫然不知所措」

まことに【誠に】

- ◆ わざわざお見舞いに来ていただき、まことにありがとうございます。「实在、非常」

まさしく【正しく】

- ◆ 食器といってもここまで美しく仕上げてあると、これはまさしく芸術だ。「的确、沒錯」

～まし

- ◆ ランチにコーヒーをつけると、100 円増しになります。「増加、増多」
- ◆ こんなものなら、ないほうがましだ。「比～好些」

まじえる【交える】

- ◆ 講師は冗談を交えて面白く話したので、難しい講義も退屈しなかった。「夹杂、掺杂」
- ◆ 言葉を交える。「交換」

まして【況して】

- ◆ 健康な人でさえ、この暑さはこたえる。まして病人は、なおさらだ。「何況、況且」

マスコミ【マスコミュニケーション】

- ◆ その小説は、テレビや雑誌などのマスコミに取り上げられ、売れ行きが伸びた。「宣传媒介」

またがる「跨る」

- ◆ 登山ルートは、富山県と長野県にまたがっている。「横跨」

まちどおしい【待ち遠しい】

- ◆ 7 月になると、夏休みが待ち遠しい。「盼望、急切等待」

まちのぞむ【待ち望む】

- ◆ 待ち望んでいた友人との再会が、やっと実現した。「期待、殷切希望」

まちまち【区々】

- ◆ 学生の国籍はまちまちで、中国人もいればアメリカ人もいる。「形形色色」

まぬがれる【免れる】

- ◆ 彼だけホテルのフロントに貴重品を預けておいたので、盗難の被害を免れた。「避免、摆脱」

まばたき【瞬き】

- ◆ びっくりして、まばたきもせずに相手の顔を見つめた。「眨眼」

まひ【麻痺】

- ◆ 脳の血管が詰まり、手足がまひして動かない。「麻痺」
- ◆ 地震で交通機関がまひする。「瘫痪」

まるごと【丸ごと】

- ◆ リンゴを切らないで、丸ごとかじる。「整个、完整」

まるっきり

- ◆ 朝からずっと釣りをしているが、まるっきり釣れない。「全然、根本」

まるまる

- ◆ 赤ん坊は、まるまると太っていた。「蜷曲」

まるめる【丸める】

- ◆ 大きな紙を丸めて筒に入れる。「揉成团」

まんじょう【満場】

- ◆ 提案は満場一致で可決された。「全场」

みあわせる【見合わせる】

- ◆ 台風が近づいているというので、出発を見合わせた。「暂停、推迟」
- ◆ 諸条件を見合わせた上で決める。「比较、对照」

みおとす【見落とす】

- ◆ 数字の間違いを見落とし、会議で指摘されて恥をかいた。「看漏、忽略过去」

みかく【味覚】

- ◆ スイカは、夏の味覚として親しまれている。「味觉」

みぐるしい【見苦しい】

- ◆ 子供の前で、夫婦げんかをするのは見苦しい。「难看、没面子」

みこみ【見込み】

- ◆ 雨は今日いっぱい降り続く見込みだ。「估计」
- ◆ 将来見込みのある人物。「希望」

みじん【微塵】

- ◆ たまねぎをみじん切りにする。「碎末」
- ◆ もうけるつもりはみじんもない。「一点」

みすばらしい

- ◆ 服装はみすばらしいが、彼は有名な学者だ。「寒碇、破旧」

みせびらかす

- ◆ 新しい車を買ったので、みんなに見せびらかしている。「卖弄、炫耀」

みたす【満たす】

- ◆ 大きなコップになみなみとビールを満たす。「充满」
- ◆ 長い間の希望を満たす。「满足」

みだす【乱す】

- ◆ 風が吹いてきて、私の髪を乱した。「弄乱」

みちか【身近】

- ◆ 身近に知っている人がいないと、何かあった時に不安だ。「身边、近旁」

みっしゅう【密集】

- ◆ 密集した住宅地のため、火はまたたく間に広がった。「密集、稠密」

みっせつ【密接】

- ◆ 日本とアメリカは、経済的に密接な関係にある。「密切」

みつもり【見積り】

- ◆ 建設会社に、建築費の見積りを出させる。「估价」

みとおし【見通し】

- ◆ 建物は今週中に完成する見通した。「预料、推测」
- ◆ 見通しのきく場所。「瞭望、眺望」
- ◆ おまえの考えていることは何もかもお見通しだ。「看穿」

みなす【見なす】

- ◆ 30分以上の遅刻は欠席とみなす。「看作、认为」

みなり【身なり】

- ◆ 立派な身なりをしていたので、お金持ちだと思った。「装束、服飾」

みのうえ【身の上】

- ◆ 彼は、少年時代に両親を失った不幸な身の上を語った。「身世、境遇」

みのがす【見逃す】

- ◆ 子供のいたずらだから、見逃してやろう。「饶恕、宽恕」
- ◆ これは見逃せない映画だ。「错过看的机会」
- ◆ せっかくのいい機会を見逃した。「放过、放跑」

みのまわり【身の回り】

- ◆ 「火事だ！」という声に、身の回りのものだけ持って逃げた。「身边衣物」
- ◆ 身の回りの世話をする。「日常生活」
- ◆ 身の回りをきれいにしておく。「应该自己处理的事」

みはからう【見計らう】

- ◆ 帰宅する時間を見計らって、友人を訪ねた。「斟酌、估計」

みはらし【見晴らし】

- ◆ 彼の家は丘の上に建っているので、見晴らしがいい。「眺望、景致」

みぶり【身振り】

- ◆ 外国語が分からなくても、身振り手振りで何とか通じる。「姿态、动作」

みれん【未練】

- ◆ 仕事に未練はあったが、出産を機に会社を辞めることにした。「依恋、恋恋不舍」

みわたす【見渡す】

- ◆ 大火事の被害にあった町は、見渡す限り焼け野原だった。「放眼望去」

むくち【無口】

- ◆ いつも無口なのに、今日はうれしいことがあったのか、よくしゃべる。「沉默寡言」

むしる

- ◆ タラの干物をむしって食べる。「撕、揪、拔」

むだづかい【無駄遣い】

- ◆ 夏は雨が少なく、水不足になるので、水の無駄遣いはやめよう。「浪费」

むちゃ

- ◆ 若い人は、むちゃな運転をして事故を起こしやすい。「胡乱、乱来」

むなしい【空しい】

- ◆ いくら働いても、生活が楽にならないので、空しい。「空虚」
- ◆ むなしく1時間待った。「白白、徒然」

むやみに【無闇に】

- ◆ むやみに山の木を切ると、洪水の原因になる。「过度、过分」
- ◆ むやみに他人を信じてはいけない。「随便、轻率」

むら【斑】

- ◆ ペンキの塗り方にむらがあって、濃いところと薄いところがある。「不均匀、有斑点」
- ◆ 成績にむらがある。「参差不齐」

むろん【無論】

- ◆ 駅まで遠いと、通勤には無論、買い物にも不便だ。「不用说」

めいちゅう【命中】

- ◆ 弾が命中して、鳥が落ちてきた。「命中」

めいはく【明白】

- ◆ 調査の結果、川の水は予想以上に汚染されていることが明白になった。「明显」

めいりょう【明瞭】

- ◆ 発音が不明瞭で、何を言っているのかよく聞き取れなかった。「明了、明确」

めくる

- ◆ 月が変わったので、カレンダーをめくる。「掲下、翻」

めざましい【目覚しい】

- ◆ 第二次世界大戦後、日本はめざましい発展を遂げた。「惊人、异常显著」

めつき【目つき】

- ◆ 父は厳しい目つきで、いたずらをした息子をにらんだ。「眼神」

めど【目処】

- ◆ 工事が遅れていて、完成のめどがつかない。「目標」

めもり【目盛り】

- ◆ 太陽が朝から照りつけて、温度計の目盛りが 30 度を超えた。「刻度」

めんする【面する】

- ◆ その部屋は大通りに面しているので、車の音がうるさい。「面对、面向」

めんぼく【面目】

- ◆ 先生の推薦で会社に入社したのだから、頑張らないと先生の面目が立たない。「臉面」

もうける【設ける】

- ◆ 社内に保育所を設けたので、小さい子を持つ母親が働きやすくなった。「設立」

もうしいれる【申し入れる】

- ◆ 事故が多い交差点に信号をつけるように、警察に申し入れた。「提出意見」

もうしでる【申し出る】

- ◆ 急いている人は申し出てください。「報名、提出」

もうしぶん【申し分】

- ◆ 卒業論文は、申し分ないほどよくできています。「欠缺、缺点」

もがく

- ◆ 小さな子が、プールでおぼれそうになってもがいている。「挣扎」

もくろみ【目論見】

- ◆ 競馬でひともうけしようというもくろみがはずれて、大損をした。「计划、策划、企图」

もしくは【若しくは】

- ◆ 解答用紙には、鉛筆もしくはシャープペンシルで記入すること。

「或者」

もたらす【齎す】

- ◆ 投手力の充実が、このチームに優勝をもたらした。「带来、造成」

もちきり【持ち切り】

- ◆ 町は、昨夜 UFO が空に浮かんでいたという噂で持ち切りだ。「始终谈一件事、净谈」

もっか【目下】

- ◆ その件については、もっか検討中なのでもう少しお待ちください。「当前、目前」

もっぱら【専ら】

- ◆ 最近は忙しいので、もっぱら外食だ。「主要、净」

もてなす【持て成す】

- ◆ 外国からのお客様を、日本料理でもてなした。「款待、招待」

ものずき【物好き】

- ◆ お金にもならない研究を、一生懸命やるなんて物好きな人だ。「好事」

ものたりない【物足りない】

- ◆ 一泊だけではものたりない気がして、もう一日泊まることにした。「不能令人十分满意」

もはや【最早】

- ◆ 病気は、もはや治療できないほど進行していた。「(事到如今)已经」

もめる【揉める】

- ◆ もうけたお金の配分をめぐって、仲間同士でもめた。「发生争执、起纠纷」

もよおす【催す】

- ◆ 運転中眠気を催したので、車を止めてしばらく眠った。「感觉要、有... 征兆」
- ◆ このホールでは 2000 人の宴会を催すことができる。「举办」

もらす【漏らす】

- ◆ 秘密を漏らさないように注意する。「泄漏」

もろい【脆い】

- ◆ 雨で地盤がもろくなっているので、崖崩れに注意が必要だ。「易坏、脆弱」

もろに

- ◆ 小船が大波をもろに受けて、沈んでしまった。「迎面、迎头」

やがい【野外】

- ◆ 雨のため、野外でのパーティーは中止になった。「野外」

やけに

- ◆ 今日はやけにお客が多くて、閉店前に売切れてしまった。「(多得)厉害、要命」

やしなう【養う】

- ◆ 夫の収入だけで家族 4 人を養っている。「养活」
- ◆ 自宅で病気を養う。「修养」
- ◆ 良い習慣を養う。「培养」

やしん【野心】

- ◆ 彼は入社した時から、社長になるという野心を持っていた。「野心」

やすっぱい【安っぽい】

- ◆ 革製と比べて、ビニール製の靴は安っぽく見える。「俗気、庸俗」

やせい【野生】

- ◆ 山に近い村には、時折、えさを求めて野生の猿がやってくる。「野生」

ややこしい

- ◆ 話すとややこしいので、図に書いて説明します。「复杂、麻烦」

やりとおす【遣り通す】

- ◆ 一度やると決めたことはやりとおす。「做到底」

やりなおす【遣り直す】

- ◆ 何度もやりなおす。「重做、再做」

ゆうずう【融通】

- ◆ アパートを借りるのにお金が必要なので、親に融通してもらった。「通融」
- ◆ 融通のきかない人。「临机应变」

ゆうぼう【有望】

- ◆ 将来有望な新人がチームに加わった。「有前途、有希望」

ゆがむ【歪む】

- ◆ あまりの痛みに、彼の顔がゆがんだ。「歪曲」

ゆさぶる【揺さぶる】

- ◆ 演奏のすばらしさに、心を揺さぶられた。「震撼」
- ◆ 幹を揺さぶって実を落とす。「揺動」

ゆすぐ【濯ぐ】

- ◆ うがいをすると同時に、口をゆすぐ。「漱、涮洗」

ゆとり

- ◆ 忙しい現代人には、ゆとりが欠けている。「余裕、余地」

ゆらぐ【揺らぐ】

- ◆ 風で木の葉が揺らいでいる。「揺動、摇晃」

ゆるむ【緩む】

- ◆ 靴のひもが緩んだので、結び直す。「松动」
- ◆ 仕事が一段落して気が緩む。「松懈」
- ◆ 制限が緩む。「缓和、放宽」

ようする【要する】

- ◆ その仕事には、少なくとも一週間を要する。「需要」

ようするに【要するに】

- ◆ 要するに彼があきらめればよいのだ。「总之」

よける【避ける】

- ◆ 水たまりがあったのでよけて通った。「躲避」

よそみ【余所見】

- ◆ 授業中、よそ見をしていて先生にしかられた。「东张西望」

よち【余地】

- ◆ 避難所は住民たちでいっぱい、足をのぼす余地もないほどだった。「空地、余地」

よふかし【夜更かし】

- ◆ 友達とお酒を飲んで夜更かししてしまい、朝起きられなかった。「熬夜」

よふけ【夜更け】

- ◆ テストの前日は、夜更けまで勉強していた。「深夜」

よほど【余程】

- ◆ あのおとなしい彼が怒るなんて、よほどのことがあったに違いない。「很、颇、相当」
- ◆ よほどやってみようかと思う。「很想、差一点就」

よりかかる【寄り掛る】

- ◆ 子供は疲れていたのか、いすの背によりかかって寝てしまった。「依靠」
- ◆ いつまでも親によりかかってはいられない。「依赖」